

食 品 安 全

2020

vol.

57

● 食品安全委員会について

● 食品健康影響評価の
指針について

● 食品健康影響評価について

● ファクトシートについて

● 主な出来事について



1 食品安全委員会について

食品安全委員会は、食品の安全性を確保するため、国民の健康の保護が最も重要であるという基本認識の下、規制や指導等のリスク管理を行う関係行政機関から独立して、科学的知見に基づき客観的かつ中立公正にリスク評価を行う機関です。食品安全委員会は7名の委員から構成されています。

食品安全委員会

委員長 佐藤 洋 さとう ひろし

専門分野：公衆衛生学

略歴 東北大学大学院医学研究科博士課程修了後、東北大学医学部教授（衛生学教室）等、独立行政法人国立環境研究所理事を経て、2012年7月食品安全委員会委員、2015年7月より食品安全委員会委員長。

委員長代理 山本 茂貴 やまもと しげき

専門分野：微生物学

略歴 東京大学大学院農学系研究科獣医学専攻修士課程修了後、国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部長、東海大学海洋学部教授を経て、2017年1月より食品安全委員会委員。

委員 川西 徹 かわにし とおる

専門分野：化学物質（代謝・動態）

略歴 東京大学大学院薬学系研究科修士課程修了後、国立衛生試験所（現国立医薬品食品衛生研究所）入所、薬理部、病理部、生物薬品部、薬品部、副所長、所長を経て、2018年7月より食品安全委員会委員。

委員 吉田 緑 よしだ みどり

専門分野：毒性学

略歴 鳥取大学農学部獣医学科卒業後、北海道大学博士（獣医学）、国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター病理部第二室長を経て、2015年7月より食品安全委員会委員。

委員 香西 みどり かさい みどり

専門分野：消費者意識・消費行動（調理科学）

略歴 お茶の水女子大学大学院家政学研究科修士課程修了後、お茶の水女子大学博士（学術）、お茶の水女子大学生活科学部助教授を経て、お茶の水女子大学基幹研究院教授。2018年7月より食品安全委員会委員（非常勤）。

委員 堀口 逸子 ほりぐち いつこ

専門分野：リスクコミュニケーション

略歴 長崎大学大学院医学研究科博士課程修了後、長崎大学博士（医学）、順天堂大学医学部助手、長崎大学広報戦略本部准教授を経て、東京理科大学薬学部教授。2015年7月より食品安全委員会委員（非常勤）。

委員 吉田 充 よしだ みつる

専門分野：食品の生産・流通（生物有機化学）

略歴 東京大学大学院農学系研究科修士課程修了後、東京大学農学博士、（独）農研機構食品総合研究所食品分析研究領域長を経て、日本獣医生命科学大学応用生命科学部教授。2018年7月より食品安全委員会委員（非常勤）。

2019年度の活動概要

食品健康影響評価

添加物、農薬、動物用医薬品等を始めとする145件について厚生労働省、農林水産省及び消費者庁から評価要請がありました。前年度までに要請があったものを含めて、140件について評価結果を通知しました。また、食品健康影響評価の内容について、案件ごとの整合性を確保し、透明かつ円滑な調査審議の実施のため、3つの評価指針を策定しました。また、農薬取締法の改正に伴う農薬の再評価制度導入に先立ち、さらに迅速で効率的な調査審議を行うために評価体制を整備しました。

リスクコミュニケーション

「リスクアナリシス及び食品安全の基本的な考え方」及び「食中毒予防」を重点テーマに、講座やSNS等で、情報発信、意見交換会を行いました。なかでも、学校教育関係者及び食品関係事業者を重点対象としました。

研究・調査事業

2018年度に終了した2つの研究課題を対象として、その研究成果の普及及び活用の促進を目的に成果発表会を開催しました。また、2020年度に優先的に実施すべき研究・調査課題（11課題）を決定しました。

国際協調

FAO/WHO合同食品添加物専門家会議、FAO/WHO合同残留農薬専門家会議等の国際会議等に参加して国際的な議論に貢献するとともに、ドイツ連邦リスク評価研究所との会合の開催等を通じ、海外のリスク評価機関等との連携を強化しました。また、英文電子ジャーナル“Food Safety-The Official Journal of Food Safety Commission of Japan”のPubMed Central®（PMC）への掲載が開始されました（2020年1月）。